

# 平成 29 年度 中央区役所周辺のまちづくりワークショップの結果

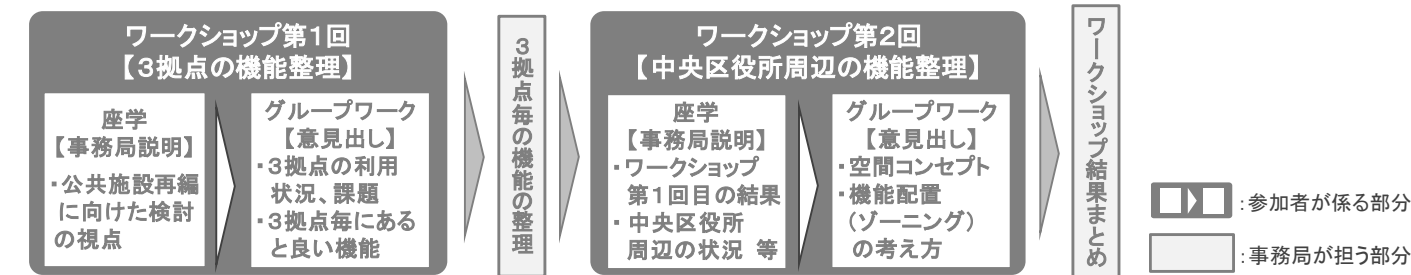
## 1 ワークショップの目的と内容

### （１）ワークショップの目的

市が進める中央区役所周辺の公共施設再編に向けた検討へ市民意見を反映させるため、市との協働によりワークショップを開催した。

### （２）開催概要

- ・第1回 平成29年11月18日（土）開催 【参加人数 17名（公募による応募者5名）】
- ・第2回 平成29年12月10日（日）開催 【参加人数 20名（公募による応募者6名）】



## 2 ワークショップの結果

ワークショップにおける3班それぞれのグループワークの意見を整理し、次の（１）～（３）のとおり取りまとめた。

### （１）3拠点毎の機能

3拠点の利用状況や課題等に関する意見の中から、施設等に関する意見を抽出し、その施設等に関連性のある機能を整理した。

3拠点	機能	意見から抽出した具体施設や設備
中央区役所周辺	文化・学習	図書館、勉強スペース、研修施設等
	集会・交流	公民館、ホール、貸スペース、集会所、多目的室等
	高齢者福祉	老人福祉センター
	子育て支援	保育所
	児童福祉	学童施設
	保健	保健センター
	行政サービス	区役所、市役所
	商業サービス	飲食施設等
	防災	避難所
	広場	ポケットパーク、親水公園
	居住	共同住宅、高層住宅
与野中央公園	文化・学習	学習の場、音を出せる施設等
	スポーツ・レクリエーション	体育館、ジム、プール
	商業サービス	飲食施設
	防災	防災拠点、避難所、防災設備
	広場	親水公園、屋外ホール、子供が遊べる場所
	その他	交番、医療施設等
与野本町駅周辺	文化・学習	図書館返却ボックス
	子育て支援	保育所
	商業サービス	商業施設、飲食施設等
	交通結節	駐車スペース、駐輪場等
	広場	イベント広場
	その他	交番

※着色部：既存の機能以外の新たな機能

### （２）中央区役所周辺の機能配置（ゾーニング）の考え方

機能配置に係る要素として、複合化、水辺利用、駅からのアクセス、車によるアクセス、にぎわい創出、安全・安心、その他を設定し、その要素ごとに機能配置の考え方を整理した。

機能配置（ゾーニング）に係る要素	機能配置（ゾーニング）の考え方の意見のまとめ
複合化	・利便性向上、多世代交流、効率化のため以下の機能を複合化する “文化・学習”と“集会・交流”と“高齢者福祉” “高齢者福祉”と“子育て支援”と“児童福祉” “行政サービス”と“商業サービス”
水辺利用	・鴻沼川を活かして“商業サービス”や“広場”の機能を水辺の近くに配置する
駅からのアクセス	・利用者の多い“文化・学習”や“居住”の機能を駅の近くに配置する ・子育て世代のため“子育て支援”の機能を駅近くに配置する
車によるアクセス	・利用者や施設配置に留意して駐車場を配置する
にぎわい創出	・駐車場を広場としても活用し、にぎわいを創出する ・広場を中心とした機能配置により、にぎわいを創出する
安全・安心	・広いスペースを活かして駐車場を避難所にも活用する ・避難場所は危険な場所を避けて配置する ・鴻沼川による水害危険性を考慮して施設を配置する
その他	・“広場”や“子育て支援”の機能は日照条件も考慮して配置する ・“文化・学習”や“集会・交流”の機能はゆとりのある空間を確保する ・他の施設や拠点とのアクセスも考慮して配置する

### （３）中央区役所周辺のまちづくりのコンセプト

中央区役所周辺の機能配置（ゾーニング）に係るコンセプトを設定するに当たっての主なキーワードを抽出した。

コンセプトに係るキーワード	キーワードに関連する主な意見
元気、笑顔、にぎわい	・みんな元気で笑顔のあふれるまち ・これからも元気に末永く住める街 ・笑顔いっぱいのもち ・民間活力も入れて、にぎわいのある複合センターづくり
交流	・みんなが集まるまち ・中央区の新しい文化、コミュニティ拠点 ・多世代が憩い、集う、交わるまち ・人と人の触れ合い（交流）ができるまち
潤い	・水とミドロの町 ・憩いの空間のあるまち ・心が潤うまち
彩り	・彩りのあるまち与野 ・笑顔のバラの花のまち“よの”
回遊	・静から動へと“回遊できる”まち ・小廻りの出来るまち与野
便利	・生活空間としてワンストップ ・住み心地の良いまち ・自然と共生する便利な街
安全、安心	・人にやさしい安心できるまち ・安全、安心のまち ・災害危険のデメリットを克服して、広場（緑）を囲んだ総合センター